

Separation Sciences 2009

—未来を見つめる分離と検出の科学—

主催 (社)日本分析化学会 液体クロマトグラフィー・ガスクロマトグラフィー・フローインジェクション分析・イオンクロマトグラフィー, 各研究懇談会

期日 10月22日(木)・23日(金)

会場 東海大学湘南校舎17号館(平塚市北金目1117)ネクサスホール

[アクセス: 小田急線(新宿より快速急行約60分、小田原より約25分)「東海大学前」駅下車徒歩約15分, または『秦野駅行き』『下大槻団地行き』バス(約5分)で「東海大学北門」下車すぐ。またはJR東海道線「平塚」駅下車『東海大学行き』または『秦野駅行き』バス(約30分)で「東海大学正門前」下車徒歩約5分]

講演時間 一般講演(G)(発表12分, 討論3分), 特別講演(S)(発表27分, 討論3分), 名誉講演(H)(発表57分, 討論3分), ポスター発表(P)(ポスター紹介1分, コアタイム60分)

ポスター発表要領 ポスターボード: 幅120cm、高さ120cm。22日の11時までに貼り終え、ポスター発表紹介時間に要旨を口頭で1分程度で説明してください。パワーポイントのファイルは22日の14時までにパソコンにファイルを保存してください。ポスターの撤去は23日の15時~16時をお願いいたします。

<第1日 10月22日(木)>

開会挨拶 9.30~9.40 (実行委員長: 三浦恭之)

一般講演 9.40~10.40 (座長: 後藤良三)

G1 間接 UV 検出イオン排除/陽イオン交換型イオンクロマトグラフィーを用いる陰及び陽イオンの同時分離定量法(広島大院国際協力¹・酪農学園大環境²・群馬大院工³) ○小崎大輔¹・中谷暢丈²・森 勝伸³・平田静子¹・田中一彦¹

G2 陽イオン交換ゲルを用いるイオン排除型イオンクロマトグラフィーによる有機酸の導電率応答の増大(群馬大院工¹・酪農学園大環境²・広島大院国際協力³) ○森 勝伸¹・岩田知剛¹・板橋英之¹・中谷暢丈²・小崎大輔³・田中一彦³

G3 電気伝導度検出と間接 UV 検出によるイオン相互作用イオンクロマトグラフィー(東海大理¹・環境技術評価研究所²) 三浦恭之¹・○深田明彦¹・野々村 誠²

G4 草木ダム湖底堆積土壌中の重金属のフラクション分析(群馬大院工) ○中野浩司・津田綾子・関谷 悠・森 勝伸・板橋英之

一般講演 10.45~11.30 (座長: 長嶋 潜)

G5 IC における溶離液の対イオンの違いによる分離改善の検討(日本ダイオネクス) ○松林匡久・鈴木隆弘

- G6** 環境水の高速イオン分析（東ソー）○多田芳光・佐藤真治・北森有加・森山弘之
G7 イオンクロマトグラフィーにおける海水中微量陰イオンの定量のための固定相の開発（岐阜大工¹・西華大学²）江 暁林¹・栄麗^{1,2}・鈴木 敦¹・小林賢洋¹・リムリーワ¹・○竹内豊英¹

特別講演 (IC) 11.30~12.00 (座長：田中一彦)

- S8** イオンクロマトグラフィーと公定分析法（環境技術評価研究所）野々村 誠

一般講演 13.00~14.00 (座長：坊之下雅夫)

- G9** 高選択的 MIP の開発—植物ステロール（東京理大薬）○引野理子・井上 明・中村 洋
G10 紫外線によるアミノ酸のキラリティー変化（東京理大薬）○今井奈々・井上 明・中村 洋
G11 HPLC による溶液内反応と固液界面反応の平衡論的および速度論的解析（埼玉大院理工）
○佐藤枝美子・齋藤伸吾・渋川雅美
G12 新規エチレン架橋型ハイブリッドアミド HILIC 充てん剤の開発と適用例（日本ウォーターズ）○佐々木俊哉・津田葉子

ポスター発表紹介 14.05~14.35 (座長：三上一行)

- P13** HPLC ポストカラム-リン酸フェニルヒドラジン法による糖鎖の分析（日立ハイテクノロジーズ¹・日立ハイテック M&S²）○中川裕章¹・石川昌子¹・加藤絵理²・松崎彩子¹・鈴木裕志¹
P14 120MPa での超高速、高分離分析を実現した UHPC の機能と特長（アジレント・テクノロジー）○見勢牧男・内藤厚子・熊谷浩樹
P15 使用圧 120MPa を実現した UHPLC による医薬品中不純物の超高速、高感度分析（アジレント・テクノロジー）○熊谷浩樹・内藤厚子・見勢牧男
P16 超高速 LC を用いた食品機能性成分の分析（日立ハイテクノロジーズ）○石川昌子・加藤絵理・松崎彩子・清水克敏・中川裕章
P17 紫外誘導体化ポリエチレングリコール(PEG)の HPLC 分離と実試料中の PEG の定量(山梨大院 医学工学総合教育) ○高山雄右・八木 望・橘 正樹・谷 和江・小泉 均・木羽信敏
P18 新規合成高分子型光学異性体分離用カラムの特性：順相、逆相各モードの特性比較（東京化成工業）○山口 努・長谷川恵子・井上剛志
P19 新規合成高分子型光学異性体分離用カラムの特性：誘導体化アミノ酸の分離挙動（東京化成工業）○山口 努・長谷川恵子・井上剛志
P20 UPLC/MS/MS によるハロ酢酸類分析に最適なカラムケミストリ（日本ウォーターズ）○津田葉子・佐藤信武・小西泰二・江崎達也
P21 HILIC-IT-TOF ペプチド解析における充てん剤の微粒子化効果（島津製作所）○吉田達成・飯田哲生・西根 努・三上博久
P22 超高速液体クロマトグラフィーを用いた食品中ダブシル化アミノ酸の迅速分析（日本分光）○坊之下雅夫・佐藤泰世・宮路敏彦・齋藤宗雄
P23 腐敗アミン類の簡易測定法の検討（東ソー）○伊藤誠治・中田文弥・小林善美
P24 キャピラリ GC 用バックフラッシュ素子を用いた分析効率化の検討（島津製作所）○和田豊仁・浅川樹子・平岡敬朗

- P25** ヒト糞便由来の悪臭成分の分析 (長崎国際大薬¹・東京都立大工²) ○佐藤 博¹・山本 緑¹・保母敏行²)
- P26** アミン型イオン交換樹脂を前濃縮に用いた微量パラジウムの定量 (日産化学工業¹・千葉大院工²) ○中島淳一¹・大野正司¹・近間克己¹・関 達也¹・小熊幸一²
- P27** GC×GC TOF-MSによる合成ゴム抽出物の二次元分離解析 (日産化学工業) ○中西将太・野口貴俊・宮本久恵・関 達也
- P28** 固定化酸性ウレアーゼを用いたウレアーゼ阻害剤の評価 (神奈川工科大応用バイオ科学) ○テップチャック アヌサラー・飯田泰広
- P29** ヒアルロニダーゼカラム・FIA システムを用いたヒアルロン酸の分析 (神奈川工科大応用バイオ科学¹・ジュジュ化粧品²) ○長嶋久美子¹・飯田泰広¹・中村行雄²
- P30** 電子部品からのイオン種成分の溶出方法とイオンクロマトグラフィーによる定量 (都産技研) ○栗田恵子・杉森博和・田熊保彦
- P31** 空気燃焼/逆相イオン対クロマトグラフィーによる食品中の全ヨウ素分析 (日大院理工¹・日大理工²・ナックテクノサービス³) ○和泉信宏¹・粥米 祐²・吉川賢二²・櫻川昭雄²・長嶋 潜³
- P32** イオン液体を用いたキャピラリー電気泳動によるフェノール性化合物の分離 (山梨大院医学工学総合教育) ○古屋 満・小泉 均・橘 正樹・谷 和江・木羽信敏
- P33** 親水性相互作用クロマトグラフィー (HILIC) による陰・陽イオンの一斉分析法 (島津製作所) ○寺田英敏・山口忠行・冢氏 淳・吉田達成・三上博久

ポスター発表コアタイム 14.35～15.35

一般講演 15.40～16.10 (座長：渡邊卓朗)

- G34** 糖鎖結合シリカモノリスによる生物毒素リシンの捕集 (科警研・産総研・ジーエルサイエンス) ○瀬戸康雄・大森 毅・金森美江子・大沢勇久・漆畑裕司・鶴沢浩隆・加藤治人・佐藤啓太・古野正浩・武井義之・太田茂徳
- G35** 表面修飾シリカゲルにおける重金属の物質移動過程に関する速度論的解析 (日産化学工業¹・筑波大数理物質²) ○近間克己¹・中島淳一¹・松尾美那¹・中谷清治²

特別講演 (FIA) 16.10～16.40 (座長：関 達也)

- S36** 中空糸膜を用いた酵素センサとその応用 (神奈川工科大応用バイオ科学) 飯田泰広

名誉講演 16.45～17.45 (座長：伊藤久昭)

- H37** モリブデン酸物語 (阪大名誉教授) 池田重良

情報交換会 18.00～20.00

<第2日 10月23日(金)>

一般講演 9.30~10.15 (座長: 関口陽子)

G38 キャピラリー電気泳動とエレクトロスプレーイオン化質量分析計の接続と溶存イオンを検出するための分析条件に関する研究 (東京海洋大海洋科学) ○若杉将史・生川智啓・ト部達也・田中美穂

G39 PVA 修飾キャピラリーカラムを用いたキャピラリーゾーン電気泳動による唾液中の無機イオンの分離分析 (群馬大院工) ○悴田麻希・山本 司・板橋英之・森 勝伸

G40 セリウム(III)の蛍光検出を利用した硫黄化合物の高感度定量 (東海大理) ○三上一行・柴山エリ・三浦恭之

一般講演 10.20~11.05 (座長: 森 勝伸)

G41 IC および IC-MS/MS による過塩素酸の測定 (日本ダイオネクス) ○李卉・北川幹也・関口陽子

G42 有機ハロゲン及び硫黄の自動分析装置の開発 (その 16): 微量元素分析用システムのバリデーション (ナックテクノサービス¹・昭光通商²・成蹊大理工³・ヤナコ⁴) ○長嶋 潜¹・岩井卓史²・谷保 諒³・出羽 好⁴

G43 流れ分析における最近の JIS 動向 (東亜ディーケーケー) ○後藤良三

特別講演 (LC) 11.10~11.40 (座長: 中村 洋)

S44 NMIJ 標準物質—化学分析のための標準物質 (産総研) 北牧祐子

一般講演 11.40~12.10 (座長: 竹内豊英)

G45 超純水中尿素の定量方法 (オルガノ) ○岩森智之

G46 Retention Behaviour of Aromatic Amines with Some Ionic Liquids Mobile Phase in Semi-micro HPLC (山梨大院医学工学総合) ○Yuppadee Nusai・小泉 均・橘 正樹・谷 和江・木羽信敏

一般講演 13.10~13.55 (座長: 渋川雅美)

G47 キャピラリーLC用 UV、レーザー励起蛍光検出器の特徴 (ジーエルサイエンス) ○黒田育磨・居迫正和

G48 リサイクル分離 HPLC 手法を用いた、夾雑物中の目的物の抽出 (ジーエルサイエンス) ○黒田育磨・菅野 賢

G49 HPLC メソッド開発の高速化による R&D 効率の向上 (島津製作所) ○塚本多矩・山口忠行・西根 勤・三上博久

一般講演 14.00~14.30 (座長: 清 晴世)

G50 GC/MS を用いた揮発性バイオマーカーの分離分析 (東京理大薬) ○加納絵里・井上 明・中村 洋

G51 GC/MSによるヒト皮膚ガス成分の分離分析（東京理大薬）○丸山誉之・井上 明・中村 洋
(G52) 講演中止

一般講演 14.30～15.00（座長：佐藤 博）

G53 熱分解 GC×GC/MS法による高分子材料の構造解析（旭化成）○佐藤幸司・伊東絵美子・
吉田和之・山崎 悟・大関 博

G54 ポストカラム反応ガスクロマトグラフ法に用いる多成分の検量のための標準物質の開発と
応用（産総研）○渡邊卓朗・加藤健次・角田欣一・前田恒昭

特別講演 (GC) 15.05～15.25（座長：前田恒昭）

S55 GCおよびGC/MSによる揮発性有機物（VOC）のモニタリング（東京理大）安原昭夫

閉会挨拶 15.25～15.30

参加費 一般 5,000 円・学生 2,000 円。当日受付にてお支払いください。

情報交換会 10月22日（木）18時より開催予定。一般 5,000 円・学生 3,000 円。当日受付にて
お支払いください。

お問い合わせ先

東海大学理学部内 SS2009 事務局（三浦恭之，三上一行）

〒259-1292 平塚市北金目 1117

電話：0463-58-1211（内線 3754 あるいは 3744），FAX：0463-50-2094，

電子メール：ikmikami@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp